

第1章 地域住民としての意識づくり【みとめあう】

第1節 隣近所との絆を深めましょう

少子高齢化の進行に伴い、隣近所では人と人がふれあう機会が少なくなりつつあります。社協では、身近な地域の井戸端会議の場である「ふれあい・いきいきサロン」を各町内会（区）に開設されるように支援し、地域住民が楽しく交流できるよう協力していきます。

また、社会福祉センターの運営を通して、地域の高齢者を中心に生きがいや活動の場づくりを進め、住み慣れた地域でいつまでもいきいきと過ごすことができるよう関係機関との連携を図り、さまざまな取組を進めます。



東部市民プラザ水曜囲碁

1-① ふれあい・いきいきサロンへの支援

【現 状】 身近な地域での、孤独感の解消や介護予防を目的に、地域住民主体の交流の場づくりへの支援を行っています。

〈目標〉 各町内会（区）に開設され、だれもが気軽に参加し、地域住民同士の交流がより深まることで、見守りや介護予防につなげていきます。

《取組》・重点地区サロン開設へのさらなる拡大 ・開所後のサロンの見守り
 ・実施要領の見直し ・サロンボランティアの確保
 ・地区福祉推進会等による支援及び連携 ・広報啓発活動の強化

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
サロンの拡大 (H27 157カ所)	年間175カ所	185カ所	190カ所	195カ所	200カ所
重点地区 (モデル地区)への支援	モデル2カ所	モデル2カ所	モデル2カ所	モデル2カ所	モデル2カ所
実施要領の見直し	検討導入	検証	実 施		

1-② 社会福祉センターの運営

【現 状】 市内4施設の運営管理を行い、高齢者や地域住民の健康増進及び憩いの場の提供を行っています。

〈目標〉 高齢者や地域住民が、住み慣れた地域でいつまでも元気で、いきいきと過ごすことができるような場と機会の提供を目指します。

《取組》・職員の資質向上のための職員研修を実施 ・自主事業の充実
 ・社協介護部門をはじめ、市、地域包括支援センターとの連携強化
 ・利用者によるセンター応援隊（仮称）の検討

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
資質向上	検討	実 施			
自主事業の充実	検 討		実施		
市、地域包括支援 センター等との連携強化	検討	実 施			

※現指定管理期間は平成26年度から平成30年度までです。

第2節 福祉のことをもっと知りましょう

全世帯に配布している社協広報紙「お元気ですか」は紙面の充実を図り、ウェブサイトやコミュニティFM放送の番組等、あらゆる広報媒体を通じて、社協をより理解していただけるよう情報提供に努めていきます。

また、「市民福祉まつり」「社会福祉大会」「社協モニター制度」を通じて、多くの市民が社協や福祉活動をもっと身近に感じることができる取組を実施していきます。

さらに社協は、平成32年に創立50周年を迎えるにあたり、記念事業に向けた広報啓発事業も行います。



市民福祉まつり

1-③ 広報紙「お元気ですか」の発行

【現 状】 福祉情報を発信するため、広報紙を年4回全戸配布しています。

〈目標〉 市民によりわかりやすい紙面づくりに努め、社協事業や福祉活動への理解と協力がさらに得られるような広報紙を目指します。

- 《取組》・ウェブページとの連動（QRコードの掲載）
- ・必要に応じて増ページの検討
 - ・シリーズ化した記事（子ども向けの企画等）

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
紙面の刷新	読者拡大への取組				50周年記念号の発行
シリーズ化記事	企画	実施	検 証		

1-④ Radio-f「はあとふるトーク」による発信

【現 状】 月1回（毎月最終水曜日）ラジオ番組で社協事業の紹介をしています。

〈目標〉 福祉情報を広く市民に届け、福祉活動をより身近に感じられる内容を目指します。

- 《取組》・社協事業をシリーズ化して発信
- ・「お元気ですか」と連動して市民からの質問に対応

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
事業紹介をシリーズ化	企画	実施	検 証（見直し）		

1-⑤ 市民福祉まつりの開催

【現 状】 あらゆる人が気軽に心地よくふれあい、福祉への理解を深め、共に生きるまちづくりを目的として、毎年10月第3日曜日に開催しています。

〈目標〉 市民、行政、社協との協働プロジェクトとしての位置づけをより明確にし、福祉活動について理解、協力が得られるようなまつりを目指します。

《取組》・市民福祉まつり検討委員会の開催
 出店についての参加基準の設定
 寄附金の活用方法の検討
 ・ステージパネルのデザイン募集と制作

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
まつり検討委員会 参加基準 寄附金検討等	検討委員会 開催	検討内容の 実施	実 施		社協50周年記 念事業の開催
ステージパネル制作	企画募集	制作	導 入		

1-⑥ 社会福祉大会の開催

【現 状】 社会福祉に功績のあった方々の表彰、活動発表及び記念講演等の内容で開催しています。

〈目標〉 市民が、この大会を通じて地域福祉やボランティア活動に関心を持てる活動発表・記念講演の実施に努めます。

《取組》・市民が参加しやすい開催方法の検討（土日開催等）
 ・活動発表の検討（地区福祉推進会や市民の先駆的な福祉活動の紹介等）
 ・市民の関心が高いテーマに基づく記念講演の検討

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
内容の見直し 開催方法等	検討・見直し		実 施		

1-⑦ ウェブサイトの充実

【現 状】 市民によりわかりやすい福祉情報を提供するため、ウェブサイトの情報を随時更新しています。

〈目標〉 地域福祉に関する情報を市民に広く周知するため、ブログ等の活用を含め、リアルタイムな情報発信を目指します。

《取組》・キッズページの内容充実（子どもにもわかりやすい福祉情報や内容）
 ・バナー広告やスマートフォン対応ページの検討
 ・ブログに社協職員の事業への思いやコメントを導入

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
キッズページの内容充実	調査研究	内容検討	作成	ページ更新	
バナー広告 スマートフォン対応	調査検討		導入・実施		
50周年版 ウェブサイト			調査研究	作成	ページ更新
各事業の ウェブサイトの活用	内容検討・実施				

1-⑧ 福祉図書コーナーの運営

【現 状】 福祉の情報提供の一環として福祉図書コーナーをフィランセ東館3階に設置し、市民に図書等の貸出を行っています。

〈目標〉 福祉情報の発信基地としての機能をより強化するため、ウェブサイト内で蔵書の検索等ができるようにします。

《取組》・福祉図書や視聴覚教材等の充実
 ・蔵書の検索を社協ウェブサイト内で展開

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
蔵書の充実 ウェブサイト検索	蔵書の整理	ウェブ サイト検討	ウェブサイト公開		50周年版 ウェブサイト

1-⑨ 社協モニターによる啓発

【現 状】 社協モニターを通じ市民に社協を知っていただくとともに、各種事業についての意見や要望等を把握し、事業の充実強化に努めています。

〈目標〉 より多くの年齢層の市民が参加しやすい、社協モニター制度を目指します。

《取組》・ 募集方法の検討（土日、夜間開催の検討）
 ・ 若年層の意見を取り入れるため、学生モニターを募集

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
募集方法検討	見直し・募集	実 施			

1-⑩ 社協創立50周年記念事業

平成32年（2020年）に社協創立50周年を迎えるにあたり、記念事業等を開催します。

〈目標〉 創立50周年にふさわしい事業を実施するとともに、広く市民に向けた啓発活動を実施します。

《取組》 ・ 実行委員会の設置

たとえば
 記念誌の発行 記念イベント（講演会等）の開催 啓発事業の充実
 社協シンボルマークの募集及び作成 50周年記念グッズの作成 など

取 組	28年	29年	30年	31年	32年
実行委員会	設置	内容・検討			実施